

南部町消防団 新体制でわが町を守ります

4月1日(金)、『平成28年度消防団任命式』が活性化センターで行われ、消防団幹部・各部役員・町関係者が出席しました。

南部町消防団は、太田団長を筆頭に413名で町民の安心安全に務めていきたいと思ひます。消防団活動に對しまして、皆様のご協力をお願いいたします。



新部長に任命状交付

幹部

団長 秋太 佐野 杉山 鍋田 森田 望月 望月 遠藤 若林
副団長 山田 裕道 佐野 哲光 徳光 一秀
副団長 山田 裕道 佐野 哲光 徳光 一秀
富沢分団長 鍋田 望月 望月 遠藤 若林
南部副分団長 森田 望月 望月 遠藤 若林
富沢副分団長 望月 望月 遠藤 若林
ラッパ隊長 若林

(敬称略)

南部分団

第1部 渡大 鍋小 石川 後藤 四千 四野 佐田 久田
第2部 裕和 貴卓 章伸 剛大 敦栄
第3部 長 長 長 長 長 長 長 長
第4部 長 長 長 長 長 長 長 長
第5部 長 長 長 長 長 長 長 長
第6部 長 長 長 長 長 長 長 長
第7部 長 長 長 長 長 長 長 長
第8部 長 長 長 長 長 長 長 長
第9部 長 長 長 長 長 長 長 長
第10部 長 長 長 長 長 長 長 長
第11部 長 長 長 長 長 長 長 長



幹部紹介

南部町安心・安全見守り事業に関する協定 大規模災害時における避難所トイレの し尿等の収集運搬に関する協定

3月16日(水)、役場本庁舎にて、生活協同組合 パルシステム山梨と協働のもと、「南部町安心・安全見守り事業に関する協定」、また、(株)東海環境衛生社と、「大規模災害時における避難所トイレのし尿等の収集運搬に関する協定」調印式が行われました。

パルシステム山梨との協定は、南部町内へ物品の配送の際に、不審者や異変を察知した場合、町や警察署・消防署等に連絡/通報し、犯罪被害等の未然防止や災害を最小限に止めるための応急対応などに対処し、誰もが住み慣れた地域で安全で安心な生活を確保できる環境づくりへの支援を目的としています。

(株)東海環境衛生社との協定は、大規模災害等が発生した場合には、排泄物の処理が重要な課題となります。南部町地域防災計画の廃棄物処理対策に基づき、避難所に設置する仮設トイレのし尿等の円滑な収集運搬業務を遂行していただくための基本的事項を定め、災害時には、迅速かつ的確に対応し協力を要請できることを目的としています。

このたびの、生活協同組合パルシステム山梨様、(株)東海環境衛生社様のご理解とご支援による協定締結には、深く感謝を申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。



安心・安全の実現に向け、協定を結びました



『南部町防災講演会』開催 『自主防災会の防災対策 を学びました』

真実と教訓は現場にあり！
生き残る訓練やつていますか？

3月13日(日)、南部町防災講演会が文化ホールで行われました。

講師は、防災システム研究所所長で多くのテレビにも出演している防災アドバイザー・山村武彦氏。

講演では、世界各地の大規模災害の現地調査から得た経験を元にその教訓を伝え、分かりやすくお話をしていたきました。防災危機管理はモラル、生きるスタンスである。現在、各地で行われている防災訓練は災害後の訓練、

これからは、**生き残る訓練**をしなければならぬ。「火を出さない・閉じ込められない・ケガをしない」等の訓練を地区防災計画を基に、地域で企画し、地域で実践的に行っていくと、いざという時に体が動かないと指摘。突発的な事態に、無意識に行動するのは逆に、動きが鈍くなってしまう「凍りつき症候群」に襲われる人もいる。

また、家の中で転倒、落下物や閉じこめられる危険がない「安全ゾーン」を決めておき、小さな揺れや緊急地震速報を聞いたら直ちに安全ゾーンへ移動することを実践してほしい。いつでもどこでも備えを！「自分の命は自分で、弱者は周りが助ける」を認識し、



家族・地域の皆様にも話してください

「近助」の大切さを訴えました。防災対策には、ハード、ソフト、システム、教育、訓練など幅広く多岐にわたるが、どれひとつ不要なものはない。しかし、全ての事を同時に推進することは困難であり合理的ではない。だからこそ、優先順位の明確化であり、命を守る災害予防訓練を重視すべきではないでしょうか？

恰好の良い形式的訓練よりも、現実的で、泥臭く、背伸びせず、地域や自分たちの身の丈に合った対策や訓練をすること。私はそれを「スマート防災」と名付け持ち場立場で何かのヒントにしていたければ幸甚の極みであります。ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

北杜市から「山高神代ザクラ」寄贈

3月18日(金)、神代桜記念植樹式典が役場本庁舎前で行われました。

安全で安心して生活できる地域社会の実現に向け、自主防犯ボランティアの活動拠点として、昨年10月に、南部町総合会館内に「南部町地域安全ステーション」を開設、また山梨県の南と北の玄関口という縁から、甲州路を行き交う旅人の安全を願い、このたび北杜市から寄贈された、大変貴重な桜です。式典では、佐野町長、望月議長が記念植樹や記念プレートの除幕を行い、町内各小中学校の生徒会長、児童会長も参加しました。

佐野町長は、「北と南の玄関口、北杜市、南部町との友好の証に神代桜を寄贈していただきありがとうございます。大切に育てながら満開の桜が本町の発展を見守り続け、住んでよかったと思える町づくりをしていく」とあいさつ、北杜市有泉課長は、「北杜市と南部町は離れています、桜により絆が永く続くことを願っております」とあいさつをいただきました。

桜は来年4月上旬頃には花を咲かせる見込みです。

※山高神代ザクラとは？

樹齢200年ともいわれる江戸彼岸桜の古木で、大正11年に桜として初めて国指定の天然記念物となり、日本三代桜のひとつです。



苗木の植樹



記念プレート除幕